

# 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jcpncc@cc-net.or.jp  
No. 1912

田中 ひさ子  
国松町10-36  
☎823-1714

寺本 とも子  
豊里町38-1-105  
☎829-9424

中林 かずえ  
宝町4-33  
☎839-2289

中谷 光夫  
高宮155-8  
☎823-5947

松尾 信次  
下木田町12-6  
☎821-7427

## 2006年 日本共産党 寝屋川 新春のつどい おこなわれる

### 一斉地方選・参院選で 日本共産党の躍進を

「日本共産党寝屋川新春のつどい」が、七日市民会館でおこなわれました。

一部では宮本たけし前参議院議員が「情勢とたたかいの展望」と題して報告しました。

宮本さんは昨年末、ホームレスの人に寝袋を配ってまわる市民グループの活動に参加した経験を報告。ボランティアの人から「ホームレスの人には仕事・家・食事が必要。政治を変えなければならぬ。宮本さん国会でがんばってほしい」という声が寄せられたこと

を紹介し、国政革新へ全力をつくす決意を表明しました。

そして、「自民党政

治の異常な特質と日本改革の方針」について具体的な例や実態をあげながら、話をすすめました。

### 参加者の親睦と 交流をふかめる

二部の親睦交流会では、藤田正雄党寝屋川後援会長、松尾信次党寝屋川市委員長があい

さつ。来年の一斉地方選挙、参議院選挙に向けて、とりくみを強化しました。

### 成人の日に 今年最初のナインデー

成人の日の一月九日「寝屋川憲法を守る会」(代表・幸日出男氏)では、今年初めてのナインデー(憲法九条にちなんで九のつく日の行動)を、成人式会場である市民会館周辺でおこないました。

日本共産党議員団も全員が参加し、「憲法九条を守り、平和のた



話に耳を傾けながらペンを走らせる新成人の9日、寝屋川市

### 法律相談

とき:1月19日(木)夜6時半より  
ところ:市民会館第3・4会議室  
予約、お問い合わせは党市議団まで

### 視界

「身体障害者手帳2級で、入院代(食事代除く)が月

千円だったのが、半年以上の入院期間になつたとのことで、五万円近い請求がきたので困っている」との相談が住民の方からありまし  
た▼大阪府の医療費助成制度があるのになぜ、と調べてみると、  
○二年厚生労働省が、入院一八〇日を越えた患者から特別の料金(保険外負担)を徴収する制度をつくつたため、であることがわかりました▼この場合、大阪府の医療費助成制度は健康保険の適用される分は千円の負担ですが、新たに保険外負担が五万円近くになったことによるものです▼「これ以上の負担は無理で退院するしかない。かといって家で生活できるか心配」という家族の声が返ってきました。現に保険外負担の徴収がはじまつて、患者の半分以上が退院しているとききます▼介護や医療の改善の中で、月に十万余から十五万円の自己負担が当たり前となつてきています。経済的に困難な世帯はいったいどうすればよいのか。「お金がなければ介護や医療がうけられない」。こんなことは許されません。

# 市駅東地区再開発

## 12月議会 中林議員が質問



一般質問中の中林議員

十二月市議会で中林議員は、寝屋川市駅東地区再開発事業について質問。  
この事業は昨年六月に事業が破綻し、都市再生機構が撤退した後、短期間に新しい案が決められ、総額八十

四億円、市税負担は四十三億円とされています。中林議員は地権者や市民の合意がえられない点でただしまし  
新事業案の賛否が問われた九月のまちづく

# 福祉後退の中 なぜ莫大な市税投入か



一般質問中の寺本議員

# 障害者自立支援法

## 12月議会 寺本議員が質問

十二月市議会で寺本議員は、障害者施策について質問。  
障害者自立支援法が今年四月から施行されるもとで、サービス利用料の負担及び食費負担の軽減をはかるよう

法の施行にともないサービス利用の一割負担と食事の実費負担で通所施設を利用している場合、一ヶ月三万円以上の負担増になると見込まれています。  
寺本議員はサービスの利用抑制にならないよう、市独自の補助制度をつくり、負担増の軽減をはかるよう求めました。  
市は「国の制度改正であり、市独自の制度は困難」と答弁しまし

# 利用抑制にならないよう 市独自の負担軽減を

## 小規模作業所 認可へ行政の支援を

寺本議員は小規模作業所支援について質問。  
市内で認可施設に移行できていない三ヶ所の小規模作業所が資金不足や認可後の運営の不安を抱えていることを指摘。  
市として、①早急に認可できるように支援すること②補助金の増額をおこなうことなどを求めました。  
市は「三つの作業所は法人設立の申請をされており、市として五百万円の開設準備補助をおこないたい」と答弁しました。



り協議会の総会で、地権者五十五人中、直接出席して賛成したのは二十二人とどまり、地権者全体の合意がえられていないこと。九月末の市民説明会でも反対意見や疑問があいついだことを指摘しました。  
また中林議員は、寝屋川、香里園駅東地区の二つの再開発事業で最低でも百十三億円の市負担になることを指摘。「財政がきびしい」ことを理由に福祉を後退させながら、莫大な市税を投入して再開発事業をすすめることのは非を市民に問うべきと主張しました。

### 議員日誌



## 松尾 信次

毎年正月とお盆に私の部屋の大掃除をしますが、資料が山積みでなかなかはかどりません。  
去年夏は突然の解散総選挙のため、掃除ができません。今年はその分たいへんで、さらに中途半端で終わっています。  
今年はいままでに資料整理をやりたいと思っています。